

事業実績書

| | | |
|------|-------------------------------|--|
| 事業名 | 障害児（医療ケア児）ママの子育て支援～地域の仲間を作ろう～ | |
| 場所 | 沼津市 | |
| 期間 | 令和3年4月8日～令和4年3月31日 | |
| | 日程 | 実施項目・作業項目 |
| 事業内容 | | <p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など）</p> <p>【医療的ケア児のママ達の仲間づくり及び情報交換できるネットワーク作り】</p> <p>◆オンラインdeおしゃべり◆ 代表とママとの1対1の対話を実施。日頃のケアなどで直接会う時間を調整するのが難しいため、気軽に時間調整のできるオンライン(LINE)を利用。 ※メンバー7名中5名実施、</p> <p>◆メンバー同士での情報交換の場づくり◆ LINEグループで情報交換及び希望者複数人でオンラインdeおしゃべり実施。 7/19 LINEグループ立上げ ・育児ケアグッズ、医療的ケアの備品、福祉サービスなどの情報交換 2/9 オンラインdeおしゃべり(メンバー4名+スタッフ2名)延期 ※スタッフ2名の児の体調不良および入院が重なったため 3/20 オンラインdeおしゃべり(メンバー3名+スタッフ3名)実施 ・医療的ケアである注入内容やグッズなどの情報交換、今後メンバーでやってみたいことなどを話す。</p> <p>◆リアルママ会準備及び実施◆※写真添付 オンライン上だけではなく、リアルに顔を合わせて交流を深めた。 9/18 実施会場の見学(スタッフ3名)延期 ※蔓延防止措置のため 10/9 実施会場の見学(スタッフ3名)実施 10/27 ママ同士がリアルに顔を合わせた『リアルママ会』実施(13時半～15時半) ・会場：サンウェルぬまづ5階 ふれあい交流室 ・参加者：母子4組+「気切の会」代表+スタッフ2名 ※駐車場から会場までの案内係、看護師、写真撮影スタッフを配置</p> <p>◆上記の全てに関わる準備や意見交換などのスタッフ会議◆ 企画運営会議 全9回実施 ※写真添付</p> <p>【医療的ケア児の育児環境の発信および地域に理解者や支援者を増やす】</p> <p>◆サークル通信の作成・配布◆※サークル通信添付 12/10～14 サークル通信(案)作成 スタッフと意見交換 1/9 サークル通信 vol.1 納品 1/12 沼津市立病院 小児科外来 サークル通信配布 1/26 沼津市役所障がい福祉課 サークル通信配布</p> |

◆団体チラシの作成◆

活動紹介を中心とした内容を計画していたが、医療的ケア児の利用できるサービスが分かりにくいことに気づいた。そこで、サポーターとなる専門職をイラストで紹介してはどうかと、イラストレーターより勧められ、盛り込むことになった。専門職より業務についてヒアリングしていくうちに、このチラシのサポーター図を活用したいという意見を複数の職種からいただいた。作成に多くの職種が関わってくれたことで、配布先の見込みが大幅に増えた。また、配布方法については、配架だけでなく、専門職からの手渡しも有効と考え印刷部数を大幅に増やすことにした。

※イラストレーターとの打ち合わせ・写真添付

◆SNS (Instagram)にて活動内容を発信◆

◆他団体との交流◆

- ・8月「ゆずり葉」代表と交流 挨拶、団体説明
- ・9月「気切の会」代表と交流 挨拶、団体説明※写真添付

ケアグッズの情報をメンバーへアナウンス。

◆アスクラロ沼津のサッカーを観戦◆

活動の支援者主催の企画「アスクラロ沼津のサッカー観戦」にほっこりメンバーを招待していただいた。駐車場や観戦スペースの環境を整えていただき、当日は医師や看護師も配置されていた。6組のメンバーとその家族が試合前の選手との交流および当日観戦することができた。選手との交流は静岡新聞に掲載され、当日の観戦の様子はSBSテレビにて放映された。※静岡新聞記事を添付

◆参考図書の見直し・意見交換◆

- ・医療的ケア児の保護者が学校での付き添い中に撮影した写真集を購入した。
- ・今年度、医療的ケア児支援法が施行された関心の高い時期を利用し、スタッフの周囲で写真集を見直しをした。コロナ禍で直接意見交換ができなかったため、感想を付箋に書いて貼ることを提案。反響が大きく現在も見直しを続けている。

※今後、感想を共有する機会を作りたいと考えている。

【その他】

◆介護タクシー試乗体験及びアンケート実施◆※アンケート添付

介護タクシー試乗体験は、当初リアルママ会当日に利用してもらうことを検討していたが、初めてのことが重なることで負担になり体験に消極的になると考えた。1人でも多く経験してもらうために、利用したいタイミングに体験できるよう計画を修正し、3名が試乗体験を実施。※内1名は「リアルママ会」当日に体験。

| | |
|---------|--|
| 事業効果 | <p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p>未就学児～中学生の幅広い年齢、また人工呼吸器・気管切開・吸引・胃瘻・経管栄養・導尿など様々な医療的ケアが必要な児のママ達とのネットワーク作りができた。色々な困り事を理解できる・情報交換ができたことで孤独・孤立の解消に繋がった。活動や団体チラシの作成を通して、様々な専門職とも繋がりができ、医療的ケア児や家族に関わる人を地域に増やすことができた。また、団体チラシ・サークル通信・SNS (Instagram)・参考図書を活用したことで、医療的ケア児の育児環境の発信ができた。「サンウェルぬまづ」「愛鷹広域公園多目的競技場」など、イベントを通して医療的ケア児の家族が安心して利用できる場を発掘することができた。</p> <p>※興味を持ってくれた人数 6名、企画に関わった人数 14名</p> |
| 自己評価 | <p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>コロナ禍が続き、対面から新しい仲間づくりは、医療的ケア児の家族だけでなく、全ての人にとって難しい一年だった。コロナ禍が明けてからの活動を考え、チラシ作成に時間と予算を使うことに変更した。少数での対話は、オンラインでもコミュニケーションがとりやすく、計画通り行うことができた。LINEのグループトークやオンラインdeおしゃべり(ビデオ通話)・リアルママ会参加者などからは「今まで知らなかった胃瘻や吸引の物品や使い方を知ることが出来た」「難病介護家族リフレッシュ制度のことは知らなかった。私も使いたい」「悩んでいたことの話が聞いてよかった」「ビデオ通話などのオンラインをうまく使えるようになった」など日常の些細なことから福祉サービスのことなど様々な情報共有ができた。また、ほっこりら主催の場以外でも気軽に話せる関係性ができたため、お互いに心強い存在になっている。アンケートなどでは「また、サッカー観戦に行きたい」「病院以外の外出はしたことがなかったが、ショッピングセンターなどへ行けるようになった」「放課後デイサービスの利用を考え始めた」など刺激を受けたママ達は行動に移したり、視野を広げている。家庭・病院・学校だけでなく、様々な環境や多くの人と触れ合う機会は児にとって刺激になり、豊かな生活に繋がると考える。</p> <p>企画に関わった様々な方からほっこりらの活動に賛同してもらい、「出来ることがあれば協力したい」との声が上がっている。地域に理解者・支援者が増えたことで医療的ケア児の育児環境の向上も期待できる。上記のことを踏まえ、当事業の目的は果たせたと考える。</p> |
| 今後の活動予定 | <p>※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>今後も仲間づくり・医療的ケア児の育児環境の発信を継続し、理解者・支援者を増やして、医療的ケア児の家族でも楽しく過ごせる居場所を考えたり、利用しやすい施設を見つけていきたい。</p> <p>具体的には、4月以降、Proud NUMAZU kosodate との交流を計画中であり、ほっこりらスタッフが当団体のライターの了承を得ている。医療的ケア児の育児環境も発信できればと考えている。また「サンウェルぬまづ ふれあい交流室」も引き続き利用していく。障がい児家族以外の人との交流ができるように活動していきたい。活動の資金については、沼津市社会福祉協議会の赤い羽根福祉基金の助成金を利用していく予定。</p> |